

令和2年度 学校評価一覧シート

愛知県立半田工業高等学校

項目担当	本年度の重点目標	・生徒個々の能力の向上を図る。 ・自己表現できる人間の育成に努め、思いやりの心を醸成させる。 ・開かれた学校づくりを推進し、地域への情報発信を行う。	
	重点目標	具体的方策	中間評価
総務部	<ul style="list-style-type: none"> 学校と家庭の連携を深める。 儀式的行事の円滑な運営を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> P T A委員会の活性化を図る。 e-メッセージを積極的に活用する。 全職員の協力体制を整え、儀式的行事に取り組む。 生徒の相互理解の場として活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、P T A活動の報告や決議を紙媒体を利用して行った。 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、儀式的行事を放送により実施した。 儀式的行事に対して、職員、生徒ともに落ち着いた雰囲気を取り組めた。
教務部	<ul style="list-style-type: none"> 各教科の学力を向上させる。 広報活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の工夫改善を図り、生徒の学習意欲を高める。 授業を大切にする。 (授業規律、成績不振者指導等) 中学校の進路説明会や、地域交流を通じ校名変更・学科改編・募集単位の見直し及び本校の様子について伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 3年生については1学期の成績不振者に対し、追試補習の事前指導を実施した。 臨時休業に伴い実施できない授業日の補充については、長期休業の短縮や学校行事を精選し確保に努めた。 基礎学力を高める方策について話し合いを重ねた。 6校の中学校で進路説明会を実施した。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、前期の運営委員による中学校の訪問は中止した。
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶、身だしなみを整える等、生徒自ら主体的に考えて行動できるようにする。 安全・安心な学校生活の実現 いじめの未然防止、早期発見、適切な対処 	<ul style="list-style-type: none"> 校門指導で挨拶の励行も行い、身だしなみ指導も年間8回実施するが、生徒自ら行動に移せるように働きかける。 講話の実施や、全体、H R単位、部活動単位または個人に対し全職員で協力して指導する。命の大切さを伝えるとともに、人権に関する指導の充実と、交通事故の防止減少に努める。 生活アンケートを利用した情報収集と、家庭や地域社会との連携を図り、いじめの未然防止・早期発見につなげる。 情報を職員間で共有し、いじめ防止対策委員が中心となり全職員で組織的に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの生徒が自ら挨拶をするが、元気に挨拶ができると良い。 夏季休業中にズボンの裾をまくる者がいた。 交通安全では、登下校のマナーについて指導した。 生活アンケートの結果から、日常生活では多くの生徒が充実した生活を送っている。
進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> 進路意識の高揚を図る。 自分に合った進路選択をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 将来の目標を持たせ、自己実現に必要な能力を伸ばできるように援助する。 勤労観・職業観を育成するため、進路への知見を広めさせる情報提供をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 休校のため、4月・5月の希望調査、卒業生による職業講話、企業説明会等の行事がなくなり、3年生が進路について考える機会が少なくなった。 休校中のホームページへの求人票掲載、授業後の企業説明会を行った。
保健厚生部	<ul style="list-style-type: none"> 健康への意識を高め、心身ともに健康的な学校生活が送れるようにする。 学校生活における不安や悩みの解決に取り組む。 日常の清掃に積極的に取り組み、整備され、落ち着いた学校環境を保つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断、保健講話、毎日の健康観察を通じて健康への意識を向上させる。 こまめな換気を実施し、感染症予防に努める。 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、担任、相談係と連携し、教育相談体制の充実をはかる。 清掃を毎日全員で実施し、ごみの分別、環境美化に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、1年生保健講話は中止した。健康診断(身体計測)は1年生、3年生は実施した。2年生および未実施のものについては今後予定を立てて実施していく。毎日の健康観察は朝の検温と合わせて担任と協力し確認している。 換気、手洗い、咳エチケットなどの感染症予防対策を掲示し注意喚起している。また、手指消毒の設置、清掃後の消毒を実施している。 スクールカウンセラー、担任、相談係と連絡を取り合い情報共有している。 新型コロナウイルス感染症対策も心掛けながら、ごみの分別、環境美化に努めている。
図書情報部	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が興味を持てる本の購入や企画を行い、利用しやすい図書館を目指す。 個人情報情報の漏洩防止及び情報セキュリティの強化を図る。 ホームページの内容を充実させ、本校の魅力を地域に発信する。 「KO-GYO-Times」の発行を通じて、本校の魅力をアピールする。 	<ul style="list-style-type: none"> 「図書館だより」を通じて本や企画の紹介を行い、図書館利用を呼びかける。 セキュリティの向上を行う。 リニューアルした学校ホームページの情報の更新を頻繁にしてもらえるように周知し、更新しやすい環境を構築していく。 中学校の教員や生徒および保護者、企業関係者に積極的にP Rする。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は新型コロナウイルスの影響で図書館の利用を呼び掛けることが難しい状況に置かれている。 オンライン学習支援システムが急増したので、細心の注意を払う必要性を訴えていきたい。 新型コロナウイルスの影響でオンライン上での教材配信を行った。これをきっかけに本校ホームページに対しての意識が強まった。 上記の理由から行事が減少してしまったため、「KO-GYO-Times」の特集記事が組みにくく、難航している。
生徒会部	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事の充実を図る。 ボランティア活動への積極的参加を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が自主的に活動し、全校生徒が協力して学校行事に取り組めるように、生徒会執行部が中心になって企画や運営を行う。 ボランティア活動への参加を全校に呼びかけるとともに、地域への貢献ができるよう活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事についてクラス会議を開き、生徒議会で検討した。現在、出た意見をもとに生徒会部として、今年度の行事を再検討している。 コロナウイルス感染症の状況から、現在ボランティアへの参加を見合わせている。
工務部	<ul style="list-style-type: none"> 資格取得を通して自ら学び、生徒の個々の能力を高める。 開かれた学校づくりを目指して、地域イベントに参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 段階的に資格取得の勉強をし自ら積極的に取り組む姿勢を持たせる。 地域連携授業に積極的に参加し、コミュニケーション能力の向上を図る。 学校のホームページを有効に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナウイルスの影響で、前期の検定試験等は受検しなかった。そのため現状資格の取組については、わからない。 地域イベントも中止が多い。 工務関係のホームページは、頻繁に更新している。

	重点目標	具体的方策	中間評価
電子機械科	<ul style="list-style-type: none"> 個々の生徒の理解に努め、実習や製図などのものづくりの経験をとおして、学習に対する姿勢を育む。また、工業人としての姿勢や考え方を、理解し実践できるように育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各科目に対ししっかり理解させる。特に実習製図など作業を伴う授業では、体験を通して意欲を高める。 資格・検定に対して計画的に取り組みせる。 外部企業との連携を深めることでキャリア教育の推進を図る。 地域の活動に参加し、相互の関連を理解し連携を深める。 「安全への意識」を高め、「5S」や「報連相」を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 休校中の課題への対応など、生徒が理解しやすいようにネットを利用できた。また、授業が始まって、課題の解説などICTを使った授業展開で理解を深めた。実習は1ローテ終了したが、短縮授業などの影響もあり展開上難しいこともあったが、2ローテ目からは落ち着いて取り組みたい。 資格・検定、企業連携、地域貢献などコロナウイルスの対応で中止になる行事が多く、今後はこれらを補う活動も考えたい。
電気科	<ul style="list-style-type: none"> 電気への興味関心を高めながら、生徒個々の基礎学力とコミュニケーション能力などの向上を図る。 生徒が自己表現できる場を提供しながら、開かれた学校づくりを目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 日頃の授業や資格取得のための学習を通して、基礎学力および電気に関する知識と能力を高める指導をする。 レポート指導や声かけなどによりコミュニケーション能力の向上を図る。 学校行事に積極的に参加させ、地域貢献や他者と協力できる場を提供し、地域への情報発信につなげる。 ボランティア活動内容や各種競技大会の結果など、生徒の活躍を学校ホームページを通じて情報発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> 資格取得や検定試験のための補習を通して、多くの生徒が電気に関する知識と能力を高めることができた。 提出物が出ていない生徒を把握して声かけや指導を行った結果、提出期限を守る意味を少しずつ理解し、改善の傾向が見られる。 新型コロナウイルスの影響で活動があまりできていないが、中学校への生徒派遣による高校紹介や電気科紹介動画によって地域へ情報発信を行った。
土木科	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の向上を図り、社会に必要なとされる知識・教養の習得を目指す。 細かな生活指導を大切に、基本的な生活習慣を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の内容を基本とし、さらに就業後必要となる国家資格試験の内容も教科指導に取り入れる。資格の重要性を生徒へ伝えることにより、学習意欲を向上させる。 日頃より、礼儀、けじめについて、しっかりと指導をする。特に、正しい言葉遣いを伝え、社会人としての心構えを身につけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響により、計画通りの学習指導はできていない。しかし、在宅用課題等を実施し、少しずつではあるが、基礎学力の向上を図ることができていると考えている。資格試験に関する学習内容も導入することにより、意識の向上および資格の重要性については伝えることができている。 細かな部分まで、礼儀、けじめについて指導できている。3年生に関しては、進路指導も含めて、これから社会に出ることを意識付けさせ、基本的な生活習慣を育てている。
建築科	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の向上と規範意識の確立 学科への興味・関心を深め、生徒個々の能力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 規則正しい生活リズムを身につけ、遅刻・欠席・早退をなくすよう努めさせる。 身だしなみを整え、気持ちの良い挨拶、言葉遣いができるよう指導を推進する。 平素の授業を大切に、出前授業・現場見学会・インターンシップ・職業指導講話などを通して建築に関する興味・関心を深めるとともに生徒個々の能力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻・欠席・早退が比較的少なく、生活リズムを身につけている生徒が多いが、まだ一部の生徒は遅刻・欠席等が多い生徒もいる。 身だしなみ、挨拶、言葉遣い等については以前より良くなってきている。さらに良くなるよう引き続き指導をしていきたい。 今年度はコロナウイルスの影響もありインターンシップ等実施できないところもあるが平素の授業を大切に学科への興味・関心を深めるとともに生徒個々の能力の向上を図っている。
1年学年会	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立を図る。 工業高校生としての自覚・目標設定をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 常に健康管理に留意させ、遅刻・欠席等の目立つ場合には、家庭との連携を図る。また、5分前行動や自ら挨拶することを心掛け、行動できるよう指導する。 各教科学科と連携を図り提出物の有無を共有する。また、全生徒が資格取得や部活動、ボランティアなど積極的に参加させる。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ感染症の対策として毎日の検温を実施している。遅刻・欠席についても、コロナ感染の影響もあり、数としては多めである。今後も家庭との連携を図っていく。また、自ら挨拶ができる生徒は少なく、敬語などの言葉遣いもできない生徒がいる。引き続き指導をしていく。 1学期に予定されていた検定試験も2学期に変更されるなどしたが、引き続き資格取得に向けて学年全体で取り組んでいく。
2年学年会	<ul style="list-style-type: none"> 自ら考え、主体的に行動する力を身につけさせる。 進路に対する意識の高揚を図り、進路に対する具体的な目標を明確化させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 報告・連絡・相談をきちんと考え、適切な行動がとれるように、学年会や関係分掌との連携を取りながら学校生活のあらゆる場面で指導し、社会人としての心構えを育成する。 HR・LT活動などを活用して、自己分析の支援や個人面談を積極的に行い、自己発見の援助をする。また、進路指導部と連携をはかり、ガイダンスを充実させ職業や学問に対する理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 担任を中心に個人面談を積極的に行い、細かな指導に努めた。まだまだ報告・連絡・相談がきちんとできない生徒もいるため、学年会や関係分掌と連携し、継続して指導していく。 LT活動で適性検査を行い、結果を基に外部講師による講話を実施した。後期は継続して個人面談や進路講話を実施し、より進路を意識できるように指導していく。
3年学年会	<ul style="list-style-type: none"> 個人の能力や適性を十分に把握し、個々の生徒に適した進路選択ができるように指導する。 社会人としてのモラル、マナーをしっかりと身につけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> LTやST、個人面談を通して個々の生徒の進路希望について十分に理解する。 日常生活に対する指導を通して、社会人として必要なモラル、マナーを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響で、面談や希望調査を予定通り実施できなかった。しかし、限られた時間の中で面談を実施し、進路希望の確認や生徒の特性把握を行い、保護者との連絡を密にして進路指導を行った。 予定より遅れてはいるが、就職、進学試験に向けた面接指導を夏休みに実施した。社会人としてのモラル、マナーについての指導を卒業までに実施していく。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立について 学校行事、部活動の充実・発展について 資格取得の推進について 学校いじめ防止基本方針に基づく取組について 在校時間等の状況記録の結果を活用し、業務の適正化を図るとともに教職員の確実・適切なメンタルヘルスの保持に努めることについて 	